

よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャバテル 代表取締役 佐々木宏至

【値上げの時期?】

今月は日照不足で野菜の値段が高騰している。大多数の海外からのセキュリティ機器は円安定着で、2年前と比較して30%強値上がりしている。

映像監視業界内の動きでは、Hikvision(ハイクビジョン)社とDahua(ダファ)社が、代理店網の構築に乗り出している。弊社はまだHikvision社が日本市場で認知される遙か前にエンコーダを主体に輸入販売を開始し、Hikvision社とはOEMの関係を築いてきた。

Hikvision社のブランディング戦略は見事である。武器は圧倒的な低コストで多数のOEMを獲得し、フィードバックでノウハウを蓄積し、そしてブランド販売にシフトした。日本監視カメラ市場はパナソニック社が約6割のシェアを持ち、後は各社で数パーセントを分け合っている状況だ。IPカメラになっても変わらない。つまりHikvision社の標的はパナソニック社となってくるだろうが、日本市場でのシェア獲得は容易なことではない。暫時は様子見としたい。

【小規模案件のコスト】

日本では4カメラ、8カメラ構成の小規模案件がボリュームゾーンだが、このクラスは既にコモディティ化が一気に進んでいる。ただし、監視カメラの導入コストでは工事要素が大きいので、機器を安く提供するだけでシェアは獲得できない。小規模での工事コスト削減手法としては、Wi-Fi化とSDメモリが要となる。Wi-Fi監視カメラは極めて少数しか提供されていない。

しかし、アイ・オー・データ機器などPC周辺機器メーカーが提供するカメラは、逆にほとんどの製品をWi-Fi化している。つまり市場が完全に分離している。例としてDahua社やHikvision社のNVRとアイ・オー・データ機器のWi-Fiネットワークカメラを使ってシステムを構築できるか? これが至極簡単にできるのだ。必要なものはWi-Fiルーターとリピータがあれば完璧。Wi-FiをサポートしていないカメラをWi-Fi化できるのか、そしてコストは? 3,000円以下でカメラをWi-Fi化ができる。ここにビジネスヒントがあると思った方は、ご遠慮なく弊社にアクセスされたし。

【ジェネテック社SC5.3】

ジェネテック社統合ソフトウェアのSecurity Centerが5.3にバージョンアップとなる。その主な特長は下記の2点だ。

①プラットフォームの機能強化

- SIPベースの電話、インタフォンとのシームレス接続の強化
- WEBクライアントの再設計とシンプル・デザインと機能強化
- 強力なレイアウトウ・エディタで思いのままの表示が可能
- SDKの強化の一つとしてオーバーレイ機能など多数
- オートロック・ワークステーション機能

②映像管理機能強化

- GPUアクセラレーション・ビデオ・デコーディング
- よりたくさんのモニタリング、より高解像度4K/8K、より高フレームレート60fps、来たるH.265をスムーズに解決。これにより、従来の表示能力の4倍程度を達成。

- インシデント記録

テレビドラマの様な複数のカメラの編集されたビデオをエクスポートできます。

- アーカイブ転送
- 多彩な映像再生能力
- クラウド・アーカイブ
- 強化されたアクセス・コントロール・ロジック

【医療分野向けのソリューション、院内セキュリティと術野、術場メディア統合ソリューション】

ジェネテック社のVMSは日本国内においても屈指の規模の院内セキュリティとして数多く採用されている。今回は術野、術場ソリューションを掘り下げて、院内セキュリティとの統合を考察する。

一般的に、院内セキュリティと術野および術場ソリューションを統合したシステムは聞いたことがない。術野、術場では求められる映像品質の次元が違う。フルHDで30fps/60fpsが標準だ。さらに失敗の許されない、高品質性を求められる。今後は4Kが主戦場になるはずだ。では高品質ならOKか? 仮に「飛行機のパーツをより高品質にしました、フェイルセーフの機能は必要としません。」この飛行機に搭乗したいか?私は絶対に乗らない。品質と故障には関係性はあるが、故障はカオス

的に具現化する。つまり、冗長化することが大切だ。

術野、術場ではHD-SDIが主流だ。これを高性能で高品質として高価なエンコーダ/レコーダで記録する。最近ではネットワークによる構築要求も増大し、オンデマンドニーズはより鮮明だ。

カメラのインタフェースHD-SDIはフルHDが最大だ、4K/8KではIP化は避けられず、HDMIが多少残る程度だろう。医療用の機器は一桁違う世界と言われている。1台30万円のHDエンコーダは医療用では300万円というところだ。我々監視カメラの世界とは別世界である、

だが、これは金額の話であり、品質と仕様は限りなく医療要求の水準にある。カメラはともかくとして、HDカメラ×1、HDエンコーダ×2、VMSでの録画管理は二重録画で映像を四重化して記録する。それでも確実に低コストでの構築が可能となる。同時に、その信頼性は、医療用専用機器でも成し得ないほど向上する。この記録映像の信憑性を保証するために、RSA128ビットの電子透かしも提供する。

院内セキュリティと術野、術場メディア統合ソリューションをワンストップで完全統合したソリューションで協業いただける医療関連企業からのお声掛けを、期待してお待ちしている。

【どこカメ・ベースの新ソリューション】

弊社のどこカメ®をベースとしたフィールド・メンテナンス・ソリューションをリリースしたので簡単に紹介する。

災害時の現場確認、出荷検査、フィールド・メンテナンス、一刻を争うトラブル対応にウェアラブルカメラ、スマホ、タブレットから映像と音声を配信し、双方向のVC(ボイスチャット)で問題をスムーズに解決する。現在、世界的に著名な製造業や電鉄系、イベントやスタジアム警備用として、各方面から引き合いをいただいている。

低遅延で高品質な映像MPEG4 AVC Highプロファイル、世界最高峰の音声コーデックOpusでの双方向N:N音声対応。



iOS / Android向けではHTML5ビデオ、HLSのサポート、さらには徹底して低遅延を採用した専用アプリも用意している。

【クラウド ヒートマップ】

リテール向けに非常にインパクトのある、クラウド・ソリューションが発表された。ジェネテック社ではいち早くこれをサポートする。小規模でも、もちろんサポートする。詳細は次号でご案内する。



株式会社ジャバテル

www.javatel.co.jp

専門サイト nvr.jp ipcam.tv

Javatel
Video Intelligence

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋 2-北 1-21 八千代ビル東館 3F
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155
支店 〒130-0011 東京都墨田区石原 1-41-4 TKビル 3F
TEL 03-6658-8726 FAX 03-5637-7834